



宮久保小学校だより

令和6年1月 No.26

明日への扉



学校教育目標：「夢に向かって挑戦」 <<Challenge for Dream>>

第2回学校評価アンケートにご協力ありがとうございます

	項 目	思わない	あまり 思わない	やや そう思う	そう思う
1	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている	5.8%	16.8%	50.0%	27.4%
2	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる	10.7%	36.3%	38.1%	14.9%
3	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている	11.0%	24.7%	38.1%	26.2%
④	お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている	7.3%	27.1%	36.9%	28.7%
⑤	お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる	3.4%	19.8%	44.5%	32.3%
⑥	お子さんは、誰とでも優しく関わっている	2.4%	10.1%	43.9%	43.6%
⑦	お子さんは、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている	11.0%	17.7%	29.0%	42.4%
⑧	お子さんは、健康に気をつけて生活している	4.3%	19.5%	47.6%	28.7%
⑨	お子さんは、自らの安全（交通事故・けがなど）に気をつけて生活している	2.7%	12.8%	50.6%	33.8%
⑩	お子さんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている	4.0%	16.5%	42.7%	36.9%
⑪	学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている	6.7%	23.8%	53.4%	16.2%
⑫	学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取り組みを進めている	5.8%	17.7%	59.5%	17.1%
⑬	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している	7.9%	14.9%	56.1%	21.0%
⑭	学校は、特色のある取り組みや教育を進めている	9.5%	33.5%	47.0%	10.1%
⑮	学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている	7.9%	21.0%	56.4%	14.6%
⑯	学校は、たより等で学校の様子を十分に保護者に伝えている	2.4%	19.2%	51.2%	27.1%

12月にご協力いただきました学校評価アンケートについて以下のようにご報告申し上げます。

6月の第1回学校評価と比べて、数字に囲みのない1～3は肯定的意見がほぼ同じか微増です。数字に口の囲みのある④～⑪、⑭、⑯は肯定的意見が3%程（実数としては9人前後）減です。数字に○の囲みのある⑫、⑬、⑮は肯定的意見が6%程（実数としては20人前後）の増です。回答数は6月の学校評価の80%となっております。一般的な傾向として、12月の回答は6月の回答より肯定的意見の割合が減る傾向に市内全域的にみられますが、次年度の肯定的意見の割合が少しでも増えるよう、学校全体としてより丁寧な取組を3学期より行っていきます。

◎自由記述欄 同様の意見はまとめさせていただきました。特定への対応については、ここでは控えさせていただきますが、事実確認し、今後の改善とさせていただきます。

○休みが続いているときの学校の温かい見守りに感謝です。また、その際のオンライン授業が助かります。

○学級内の特別な支援が必要なお子さんの受け入れ体制について

様々な場面において支援の必要なお子さんは多岐にわたり、それぞれのお子さんの困り感に寄り添い、支援をしていけるよう学校全体で対応しています。また、市教委に要望し、スクールサポートスタッフ(3S)の派遣日数の増加や特別支援補助教員の配置をしてもらい支援しています。今年度は、更に県の3Sも配置要請が叶い、他校よりも正規教職員以外の配置をもらい、対応しています。

○連絡帳をタブレット起動せずにスマートフォンで確認できるようにしてほしい。

現状の本市の校務システムではセキュリティの関係で難しい状況にありますが、他校の取組も踏まえ再度思案していきます。またタブレット連絡によるメリット・デメリットを検討し、連絡帳との併用を考えていく必要もあるかと思われます。

○新年度の学級編制や引継ぎについて

教員の異動が重なる時期でもありますが、重要なことは確実な引継ぎが卒業まで、或いは中学校へも引継ぎできるよう改めて引継ぎ方法を思案していきます。また、保護者の皆様とも連携を取り合い、相談事項等を繰り返し確認・ふりかえりができるようにしていきます。保護者の皆様も4月当初に配付する合理的配慮の文書、教育相談等も活用していただき、現在のお子さんの状況を共有して、より良い支援を行っていきます。

○教材費の明細について

現金集金の際は、学年だよりにて必要額を明示しておりましたが、口座引落集金となったことで、入力作業や確認作業が多忙となり、2か月に1度・全学年同一金額の教材費を集金しています。7月・2月に調整額を集金させていただき、前期・後期に会計報告を配付しています。会計報告とは別に、学期ごとの支払い計画(予定)をお伝えすることは、可能なので検討していきます。

○低額の手集金時の集金方法について

手持ちの封筒に名前を書いてではなく、集金袋を配るなど方法を改善していきます。

○学校行事や日々の生活の写真販売の要望について

宿泊学習等、業者が同行する行事や周年行事については、写真販売をしています。

日頃の様子については、学級担任が記録に収めることはありますが、公機関の学校が撮影して販売は問題が生じますのでできませんし、データの提供も個人情報関係で難しいです。

学校の様子については、是非、ホームページをご覧ください。参観日と別に、学年の行事等を定期的に公開あるいは保護者参加の形で行う機会を増やしていくよう検討します。

(今年度実施：高学年の家庭科での裁縫手伝いや4年生の星空教室)

○保護者駐輪場所について相撲大会がなくなったので、土俵を壊して確保できるのでは

今年度、自転車の止め方が原因で、校外学習から戻った児童が土俵付近に集合できない状況や、来客や業者の車が駐車できない状況が見られました。授業参観等、多くの保護者の皆様が来校される場合は、土俵前のアスファルトだけでは、駐輪できず正門へ続く道へも駐輪も懸念されます。児童の通行と業者等の車の出入りはそこに重なると事故の要素が強くなります。行事等に合わせ駐輪場所について連絡させていただきますので、ご確認ください。普段の駐輪に関しては屋根付きの駐輪場と同じ向きに駐輪いただくようご協力お願いいたします。

また、相撲大会は廃止ではなく、コロナ禍の延長で現在中止となっています。

○トラブルや悩み事にたいする学級担任の対応について

児童のトラブルや悩み事についての対応は、児童の思いに寄り添い、問題解決につながるよう支援していくべきところです。学級担任が一人で対応するのではなく管理職への報告や学年内での共有等、組織として対応できるようにしていきます。また、教育相談の機会や保護者の皆さんとの連携場面を大切に、相談窓口を広げていきます。